

脱水症

症状と治療

- ・水分喪失量に対して水分摂取量が不足することによって起こります。
- ・脱水の原因としては、水分の摂取が不足する状態あるいは水分の喪失が過剰となる状態の2つが考えられます。
- ・実際には、水分の摂取が不足すると同時に喪失も亢進することが多いです。
- ・発熱により全身倦怠感が強くなると、水分の摂取が減少します。
- ・発汗の亢進や呼吸数の増加などにより排尿によって意識されない水分の排泄が亢進し、程度が強くなれば脱水となります。
- ・ウイルス性の腸炎や食中毒、コレラなど、急性の消化器疾患の症状としてしばしば同時にみられます。
- ・嘔吐により水分の摂取が低下するとともに、下痢により水分の喪失が増加します。
- ・高温の環境、重作業、激しい運動では発汗が亢進するため、十分な水分および電解質の摂取がなければ脱水の原因となります。
- ・これらの要因が重なり合って起こる重篤な疾患に熱中症があります。
- ・軽症であり経口摂取が可能な全身状態であれば、電解質を含んだ水分を経口で摂取させます。
- ・ただし、スポーツドリンクは、ナトリウム濃度が低いため、特に乳幼児の脱水時にこれを与えると、低ナトリウム血症から水中毒を惹起する危険性があるので、経口補水用の食品を使用したほうがよいです。
- ・現在日本では、厚生労働省認可の個別評価型病者用食品として飲料OS-1が発売されており、当急患診療センターの待合室や調剤薬局、病院の売店等で販売されています。

急患診療センターを受診するめやす

脱水が重度の場合や、全身状態が悪く経口摂取ができない場合や、下痢などで塩分の喪失があり、急速な治療が必要な場合には急患診療センターなどを受診していただき、輸液を行います。